

オリンピックの生き方に学ぶ（柔道編）

【大田市立第三中学校】

ねらい

オリンピックの生き方や考え方に触れ、生徒自身の今後について考える機会とする。

いつ

令和3年12月20日（月）

どこで

大田市立第三中学校
多目的室・体育館

だれが

全校生徒・教職員 21名
※講師 平岡 拓晃氏
[筑波大学体育系 助教]
[ロンドンオリンピック柔道男子 60 kg級
銀メダリスト]



なにを

○オリンピックに関する講話
講演「自立とは」
○柔道実技指導

概要

- ・東京オリンピックの話をお聞き、オリンピックの理念や価値を学ぶ。
- ・柔道元オリンピック選手（メダリスト）の講演を通して、自立とは何かを生徒一人一人が自ら考える機会とする。
- ・オリンピックから柔道の指導を受けて、受け身や技に挑戦し柔道の魅力を体感する。



講師の平岡氏には、昨年に引き続き2年連続で講演をしていただきました。ご自身が参加された2度のオリンピックとともに、今夏の東京オリンピックに関わられたエピソードなども交えながら「どんなことが自立なのだろう？」と生徒に問いを投げかけられ講演がスタートしました。講演の中で「地図よりコンパスを！」という言葉を引き合いに出され、本気になれることを探すことが何よりも大事であることを伝えられました。そして、「強く意識することによって自分と向き合い行動できる。」「不安は向上心をもっている裏返しである。」という前向きなメッセージもいただきました。後半は、体育館に移動して柔道の受け身や技などを教えていただきました。限られた時間でしたが、特に、3人の柔道部員たちが目の色を輝かせて、平岡氏のアドバイスに耳を傾けている姿がとても印象的でした。